

2024/12/9（金）

本日はインタビューよろしく
お願いいたします。

ガソリンスタンドで働いているAといいます。
今日はよろしくお願いします！

働き先の会長のBです。よろしくお願いします！

今の会社で働き始めてから
どれくらいの期間になりますか？

丸5年働いてきました。今は6年目です。

今の会社で働くことになった
きっかけは何ですか？

刑務所を出るときは、ダルクという依存症回復施設に入って、生活保護をもらいながら生活しようという甘い考えがあり、自分から仕事を探すことはしませんでした。しかし、出所後のある時に、地元に戻りたいと思って父親に実家に帰りたいと話をしたら、ダメと言われてしまいました。それがとても悔しくて、「それならもう今いる土地で生きていってやろう」と思ったのです。そのためにはまずは仕事を探さないといけませんので、自分の担当の保護観察官に「車屋の仕事を紹介してほしい」と相談しました。自分は、10代の頃からバイクなどの乗り物が好きで、以前にも車両整備の仕事をしていたことがありまして、「働くなら車屋さんがいいな」という気持ちがありました。保護観察官からは、「ガソリンスタンドならあるよ」と言われて今の職場を紹介してもらいました。

今の仕事をしていて、
楽しいと思う部分がありますか？

お客さんが喜んでくれる時とか、お客さんと仲良くなれた時、あとは今あるこの何でもない平凡な日常がすごく幸せだと思っていて、すべてが楽しいという感じです。悩みもなくはないのですが、誰かと揉めたり、喧嘩になったり、人から追われたりすることなくなったので、この何でもない刺激のない日常が幸せです。刑務所を出る前は、正直仕事が続くと思っていませんでしたし、自分が覚せい剤をやめられるとは思っていませんでした。でも、刑務所を出てきて環境が変わり、このままではいけないなという思いが芽生えて、徐々に自分が変わっていったのだと思います。

周りの環境が自分を変えてくれたとのことですが、一番自分を変えた人・もの・出来事は何だと思いますか？



やっぱり今の会社の人たちだと思います。自分に良く接してくれていると思います。あとは、父親がちょうど刑務所にいる間に難病を患って、刑務所を出た後に病状がどんどん悪化していったので、自分がしっかりしなくてはという思いになったのもあります。そうした色々な要因が重なって、自分が変わっていったと思います。

仕事をしていくじけそうになったこと・辛かったことはありますか？



そんなにないですね。頑張らないといけないな、と自分のなかで思ったりすることはありますが、昔抱えていた悪い人たちとの間のしがらみに比べたらそんなに大した悩みではないです。仕事というよりは、悪い人たちとの関係を断ち切る部分で大変なところがありました。出所してから自分の自宅や携帯に何回か電話がかかってきたことがありましたね。

どうやってその大変な局面を乗り越えたのですか？



出所後は真っ当に生きていたから、人に何かを相談するのが怖くなくなったのです。何かがあれば警察に行けばいいと思うようになりました。自分がクリーンな生活をしていたら、悪い人たちの側も何も言えることはないですからね。

出所者に対して厳しい目を向ける人がいるなかで、何かを相談できるほど他人を信頼するのは難しい部分があると思いますが、その点のハードルはなかったのですか？



他人から厳しい目を向けられることがあるのは、受け入れないといけないことだと思います。自分がしてきたことだから、「あいつまた悪いことするだろうな」と思われても仕方がないかな、という感じです。実際に周りの人たちと接していて、自分に対する偏見はまだあると思います。

自分の過去と向き合い、やり直そうと思える一番のモチベーションは何ですか？



やっぱり、今の自分を信じてくれる人を裏切りたくないという思いにつきます。もし今の自分に働く場所や自分を信用してくれる人がいなかったら、おそらく寂しさからまた悪いことをしていると思います。でも今は自分を信用してくれる人、すなわち社長や、今一緒に働いている同僚が周りにいるから、裏切りたくないという思いを強く持っています。

今の会社に入って良かったと思うことは何ですか？



全てです。平凡な日常を送ることができていることや、周りの人たちが自分を信じてくれていることは、今の会社に入ったからこそあるのだと思います。

周りにいる人（社長、先輩、同僚、お客さん、家族、知人など）から言われた言葉で印象的だったものはありますか？



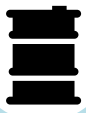
印象的だったというのは違うかもしれませんが、自分が今の土地で暮らし始めてから1年ほどたった時に、難病を患った父親の面倒を見るために実家へ帰る機会がありました。その時に、実家と同じ敷地内にあった親戚の家に「悪いこととしてすみませんでした」と頭を下げにいったら、自分のことに気づいてもらえなかったのです。そのことに驚きや嬉しさ、過去の自分から変わることができたという達成感を感じたことがありました。

仕事のなかで達成感を感じる瞬間はどんな時ですか？



今の会社では年に4回キャンペーンがあって、そこで売り上げの順位を従業員の間で競い合っているのですが、1位をとれたときはとても嬉しいですね。普段から1位を取ろうと意識しながらやっていて、もちろんプレッシャーはありますが、その分1位を取った時の達成感もあります。それが今の仕事のやりがいになっている側面がありますね。

今後の夢や目標はありますか？



まだ今の自分には変えたいと思っている部分があって、具体的にどうなりたいというのは難しいですが、悪い人たちとの付き合いに頭を悩ませることのない、今の平凡な日常を幸せに感じるので、このような幸せな人生を送ることで、今でもおそらく自分のことを陰で悪く言っているであろう昔の友達などに対して、5年後や10年後に見返すことができたらいいなと思います。

これから協力雇用主のもとで働くことを考えている人たちに対してメッセージがあればお願いします。



厳しいかもしれませんが、仕事というのは、その内容や自分のそれができる姿をイメージすればできる、あるいはやろうと思えばできる、といったものではないと思います。結局、自分がやらないといけないというところまで追い詰められないと、おそらくできないと思うんですね。一つ例をあげると、自分が昔地元で付き合いのあった覚せい剤の売人で、十何回も刑務所に入ったことのある人が、最後に刑期を終えてからはタクシーの運転手として、売人をやめて普通の仕事をしている、という話があります。その人は十何回も刑務所に入ったけれど、ついに、これからは真面目に仕事をしなければならないという状況になって、やっと普通の仕事ができることに気付いたと思うのです。最初からできないと決めつけないことです。とりあえず仕事をやってみる、そして自分自身をやらなければいけない環境に置くというのが大事だと思います。

仕事を選ぶ時に大事だと思うポイントは何だと思いますか？



それはやはり自分のスキルや趣味を活かせる仕事を選ぶことが大事だと思います。また、ほかに大事なポイントとして、どんな人たちがいるか、その人たちと良い人間関係が築けるかどうかも大事だと思います。現に覚せい剤を使うなど悪いことをしながら生活している人がいるような職場はだめだと思いますし、悪い人かどうかに限らず、人間関係が良いところに就職すれば働きやすいのではないのでしょうか。

自分の過去を明かして働くのと隠したまま働くのでは、どちらが良いと思いますか？



過去を明かした上で、それに理解を示してくれる人の下で働いた方が良いと思います。その方が、本当に精神的にきつくなったときに相談がしやすいと思いますし、逆に過去を隠していると相談したくてもできないことがあるのではと思います。

自分の場合は、いまの会社に入ってから半年くらい経った時に、覚せい剤の後遺症で足がムズムズする病気になったのですが、覚せい剤を使っていた過去を会社の人たちに明かしていたので、その時にそのことを正直に相談できて、通院などにもすぐに対応してもらうことができました。

そういった相談は普通の会社だとできないことだと思います。なので、その点を考えるとやはり過去の事情に理解のある人たちの下で働くのが一番いいのではないかと思います。

Bさん(Aさんが勤める会社の会長)が協力雇用主になったきっかけは何ですか？



きっかけは妻が保護司をしていたことです。ちょうど30年前のことになりますが、保護司をしていた妻から「協力雇用主になってくれないか」と言われて、二つ返事で始めたという経緯があります。その時すでに少年警察補導員を長く経験したことがあって、非行をした子どもたちとの触れ合いの経験があったため、出所した人を雇うことに抵抗はありませんでした。

出所者と接するにあたって気をつけていること・意識していることは何ですか？



気にしていることはないです。

出所者であることを気にしたら、その人たちを普通の人たちとは違う目で見ることになります。それは絶対にだめです。なので、基本的には過去を聞かないというのがうちの会社のポリシーです。

これまで協力雇用主をしてきたなかでの印象的なエピソードを教えてください。



今からもう十年も前のことですが、うちの会社の金庫を壊してお金を持って行った子がいました。その子は当時地元の金庫や自動販売機を壊してお金を奪ったり、お店の商品ケースを奪ったりしていて、5人組で窃盗をしていた子でした。そんな子をうちの会社で雇うことになり、当時うちの会社に勤めていた人がその子を育てました。

その子は四国に逃げていた子で本当に大変でした。少年院や鑑別所にも行った子でしたが、その子は今しっかりと独立して、塗装の会社を立ち上げてやっています。

そういったエピソードはたくさんあります。1つや2つといったものではありません。本当に悪い子だなと思った子もいましたが、どんな子も信じてきました。1回悪いことをしただけで更生した人はほとんどおらず、だいたいの子は何回も悪いことを繰り返すので、信じ続けるには根気が必要です。

協力雇用主をやっていて良かったと思う点は何ですか？



良かったと思うのは、協力雇用主をはじめたことで、社員教育ができるようになった点です。うちの出所者雇用の取組を知ってもらっているからこそ、対象者の少年達と社員が苦楽を共にすることでお互い信頼しあえる人間関係が構築され、規範意識が形成されます。そのことが社員教育となっていて、結果的に売上実績の向上に繋がっているのです。

少年達との出会いによって会社が存続しているといえます。

これから協力雇用主になろうかなと考えている人たちへのメッセージをお願いします。



雇用する出所者の人たちに対して、すぐに立ち直りや成果を求めることはできない、ということが言いたいです。労働力不足の解消のためだけに出所者を雇用する協力雇用主はいらないと思います。労働を提供してもらうのではなく、一緒に働きながら人権を尊重して更生の支援をすることが大事だからです。

社員が良くなしないと会社は存続しません。そのため、人を雇用するときはその人の気持ちを想う心を会社が持たないといけませんね。

お二人ともありがとうございました！